

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービス にじいろホース

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		主な活動は屋外で、牧場など十分なスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	○		利用児の多い時は、事前に指導員の追加を行っている	配置は適正であるが、職員の多忙化の改善が行っていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		トイレのスロープを設置しました	今後も、必要な環境整備を行っていく
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		打合せや職員間のメールやSNS等を利用して、その日の目標、子ども達への配慮、前日の振り返りなど行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者へのアンケートを実施し、業務改善につなげている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社ホームページに公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は実施していないが、今後検討の予定	必要に応じて、外部の事業所、相談支援員等の協力を得て、今後実施する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		資質向上に必要な研修を希望に沿って受講させることにしている	コロナ禍で研修に積極的に参加出来なかったが、オンラインなどを利用する方向で行いたい
適切 な 支 援 の 提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		計画周期に沿って、アセスメントを実施し、支援計画を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		子どもの適応行動の状況把握として、アセスメントシートを活用している	アセスメントについての共通理解を深める機会をより多く設けていく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々の打合せの中で、チームメンバーで検討し、共有している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		平日、土・日、祝日で活動内容を変え実施している 祝日にはイベントも実施している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は集団活動、土・日、祝日・長期休暇は個別活動と分け、個々の児童の課題に沿い支援を行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		平日は集団活動、土・日、祝日個別活動と分け、支援計画に反映させている	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		打合せが行えない時は、メールや電話、SNSなども活用して連絡をとっている		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービス にじいるホース

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
児 供	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	気付いたことは、メール等で当日に連絡し合い、翌日には共有出来るようにしている	活動終了後は、送りがあり、打合せは困難な状況にある必要ことはメールや電話で伝え、翌日には全員で共有する また、特別対応が必要な児童については、都度スタッフ会議を開催するようにする
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回記録をとり、支援の改善につなげている	記録内容を支援目標に照らしながら、記載するように心がけていく
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月毎にモニタリングを行い、計画の見直し等判断している	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		動物や自然との触れ合う機会をたくさんつくり、集団活動や個別活動の中で、個々の子どもに沿った支援を行っている	ガイドラインについての研修や共通理解を深めていく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には児童発達管理責任者が必ず参加している	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校の行事等は送迎の際に確認している子どもの下校時刻は保護者に確認し、必要に応じ学校から学級通信をもらうなど、情報を得ている	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアが必要な子どもは現在利用していない	医療的ケアが必要な子どもの利用が見込まれる際は、必要な体制を整備する
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		担当者会を保育士などと共に行い、受入児童の情報共有を行っている	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		移行支援についての資料を作成し、担当者会議に提供している	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		支援センターと連携し、適宜助言を受けている	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		清武児童文化センターにて、地域の児童と交流している	
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		○	今後検討し、参加を考えていきたい	清武町(所在地)の行事への参加を図るようにする
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		電話、連絡帳、SNS、面談等で子どもの状況は細やかに伝えるよう努力している		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービス にじいろホース

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	土・日の個別支援は、保護者を含めた家族支援の観点からも行っている	関連知識の向上を図り(研修受講など)、保護者への支援を行っていく	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明を行っている		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	保護者からの相談は常時受け付け、助言や支援を行っている		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今のところ保護者会は実施していないが、今後検討していきたい	夏休み・冬休み等でのイベント行事と重ねて保護者会等を開催し、保護者間の連携を支援していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談を受けた場合は、直ぐに対応し、細やかに寄り添うように心がけている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報は発行していないが、月1回保護者へのお手紙を送付し、また、SNSで行事予定等のお知らせを行っている	月1回の保護者宛の手紙やSNS等を通じて、情報共有を図り、さらに内容を充実させていく
	35	個人情報に十分注意している	○		同意書の取り交わしを行っている個人情報に関する書類は、鍵付の棚に保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		電話、連絡帳、SNS等で配慮している	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域の児童養護施設の児童の招待を予定している	コロナ禍で行えなかったが、夏休み・冬休み等のイベント行事などと重ねて実施を検討する
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	火災に対する訓練は実施している 各種マニュアル等は今後作成していきたい	各種マニュアル等の作成・整備を行う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災に対する訓練は3ヶ月に1回定期的に実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を実施し、共通理解を図っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現在は、身体拘束の必要な子どもはいないため、行っていないが、今後話あって決定しておく必要がある	現在は、身体拘束の必要な子どもはいないが、必要な状況が生じた場合には、適切な対応(スタッフによる協議、保護者への説明、児童発達支援計画に記載等)を行う
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食物アレルギーの子どもの把握はしているが、医師の指示書はもらっていない	契約時にアレルギー等を把握し、必要に応じた対応を行う
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	インシデント、アクシデントの報告書は必ず作成している	事業所メンバーから情報収集を行い、事例集を作成し、注意喚起を行う